

自立活動 学習指導案

1 単元名 「見えないルール（暗黙の了解）」

題材名 「ルールについて考えよう」

2 単元の目標

- ・高学年・中学生に向けて必要なスキルを身に付けることができる。
- ・見えないルール（暗黙の了解）について知り、それを活かしてよりよく過ごそうとする。

3 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 学びに向かう人間性
1. 中学校と小学校の違いを理解する。 2. 友達関係やルール、失敗の受け入れ等、暗黙の了解があることを理解する。	1. 集団の中で状況に応じた行動について考えることができる。	1. 話し合いを通して、自己の行動の特徴に気付こうとしている。 2. 友達の考えや取組を認めようとしている。 3. 学習の約束を守り、友達と仲良くしようとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領（平成21年3月告示）自立活動の内容

1.健康の保持	(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事。 (3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事。 (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事。 (5) 健康状態の維持・改善に関する事。
2.心理的な安定	(1) 情緒の安定に関する事。 (2) 状況の理解と変化への対応に関する事。 (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。
3.人間関係の形成	(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。 <input type="radio"/> (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。 <input type="radio"/> (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。 (4) 集団への参加の基礎に関する事。
4.環境の把握	(1) 保有する感覚の活用に関する事。 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。 <input type="radio"/> (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。
5.身体の動き	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。 (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。 (4) 身体の移動能力に関する事。 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。

6.コミュニケーション	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 (2) 言語の受容と表出に関すること。 (3) 言語の形成と活用に関すること。 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 ○ (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。
-------------	--

上記の「3 人間関係の形成の内容 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。及び (3) 自己の理解と行動の調整に関すること」に重点を置き、次の2点がねらいである。

①他者の意図や感情を理解し、状況に応じた適切な行動をとることができるようにすること。

②自分の得意なことや不得意なこと、自分の行動の特徴などを理解し、集団の中で状況に応じた行動ができるようにすること。

通級に通う児童は、経験を積むだけでは相手の意図や感情を捉えること、いわゆる「暗黙の了解」を捉えることに苦手さを感じる子が多い。中学生になると、身だしなみや言葉遣いに気を遣うようになってくる。友達関係では、何か意図(企み)があつて優しくしてくれることがあるが、それに気付かず心が傷ついてしまうことがある。さらに、マイナスの経験を生かすことが難しく、自己肯定感が下がり人に対する不信感が積もることがある。

また、一度の失敗ですぐに投げ出してしまったり、したくないことや苦手なことを頑なにやらなかったりなど、こだわりから行動を極端に考えてしまう傾向がある。

そこでこの単元「見えないルール」では、上記のねらいと共に「4環境の把握 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること」「6コミュニケーション (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること」と関連させ、生活上の様々な場面を想定して、相手の言葉や表情などから、相手の立場や相手の考えていることを推測させていく。そして体験を通して話し合ったり、友達の考えを聞いたりすることで考え方を広げ、発達に即した適切な行動を遂行する手掛かりとしていきたい。

(2) 教材観

本単元の「見えないルール」は、『自閉症スペクトラム障害のある人が才能をいかすための人間関係の10のルール』(テンブル・グランディン、ショーン・バロン著、明石書店)や、『学校では教えてくれない大切なこと』(旺文社)をもとに児童の実態を踏まえて作成した単元である。内容は下記の「6 単元の指導計画と評価計画」の通りである。

本題材の「ルールについて考えよう」では、下記のように「守レベル」を使って、自己理解を深めたり、他者理解を促したりしていく。

守レベル	課題 ①宿題を毎日やる。 ②ゲームセンターに子供だけで行かない。 ③弱いものいじめ(暴力・暴言)をしない。 ④委員会などの仕事を忘れずにやる。
レベル3・・・絶対に守っている。	
レベル2・・・できるだけ守っている。	
レベル1・・・守れない時もある。	

他の課題(※グループによっては、以下の候補から課題を選択した)

- ・順番を守る
- ・ごみはごみ箱に捨てる
- ・ハンカチ、ティッシュを毎日持ってくる
- ・いつも正直でいる
- ・服が汚れたら着替える
- ・財布が落ちていたら交番に届ける
- ・お家の約束

1. 教材「守レベル」について

守レベルは、自分が守れているルールを3段階に分ける活動を通して、本人自身が守れているか、あまり守れていないか自分で振り返らせるようにした。また、それを黒板に掲示し、友達と比べることで「守るレベルは人によって違う。」ことに気付かせ、ルールを守るための工夫について考えさせていく。

2. 「守レベル」の課題について

上記の①から④の課題を選んだ理由は

○なぜ守れるようにしているか、守れるための工夫が出やすい課題。(全部)

○児童が絶対に守ってほしいもの(②)

○児童の守レベルが分かれそうなもの。(①、③、④)

今回の授業「ルールについて考えよう」は、見えないルールの単元として初めて扱う題材であり、必要性は高いもののルールを守ることが苦手な子が多い小集団にとっては扱いにくく、またルールは、守ること、守れていることが当然だという思いがあるので、話し合いのやりにくさがある題材である。ルールを守れているか自己理解を深めたり、ルールについて守れた成功体験について話し合い友達の意見から気付いたり、受け入れられたりすることで、ルールについての一人一人の考えの幅が広がるように取り組みたい。

5 年間指導計画における位置付け(コミュニケーション)

	単元名
第1学期	「ルール変更のタイミングと特別ルール」
	「状況や立場による相手の気持ちの違い」
第2学期	「怒りのコントロール」
	「見えないルール」(本時)
第3学期	「いろいろな解決方法」
	「苦手なことに挑戦しよう」

6 単元の指導計画と評価計画(全5時間)

	目標	学習内容・学習活動	評価規準(評価方法)
第1次	・中学校について知り、進学に向けて前向きな気持ちをもつことができる。	小学校と中学校の違いを知り、「見えないルール」の学習の見通しをもつ。 ・中学校〇×クイズ ・中学校の服装、言葉遣い	アー1(発言、ホワイトボード)
第2次	・優しくしてくれる人が皆友達とは限らないことを知る。 ・友達づくりの方法が分かる。	友達と関わる具体的な場面を提示し、どのような友達関係がよいものかを考える。 ・友達関係 GOOD OR BAD	イー1(発言、ワークシート) ウー3(発言)
	・失敗の大きさを区別し、受け取り方は人によって違うことを知る。 ・失敗しても落ち込まずに挑戦しようとする事ができる。	失敗の受け取り方は人によって違うことを知り、自分で決めた1分間チャレンジに挑戦する。 ・失敗エレベーター ・1分間チャレンジ	ウー1(行動観察、発言) ウー2(行動観察、発言)

<ul style="list-style-type: none"> ・人それぞれルールを守るために工夫していることが分かる。 ・他人がルールを守れない時にどう対応すればよいか考えることができる。 <p>《本時》</p>	<p>自分がルールをどの程度守れているか3段階に分類し、ルールを守るための工夫を考える。</p> <p>友達に気持ちよくルールを守ってもらうための対応を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守レベル ・友達にルールを守ってもらうために 	<p>イー1（行動観察、発言） ウー2（行動観察、発言）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・やりたくないことをやらなければならない時があることを知る。 ・苦手なことにプラスの動機付けで取り組むことができる。 	<p>やりたくないことを行動に移す時の動機をプラスの動機とマイナスの動機で分類し、苦手なことをプラスの動機で取り組む練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラックエンジン、ホワイトエンジン ・漢字練習に5分間チャレンジ 	<p>ウー1（ワークシート） アー2（発言）</p>

7 指導の工夫

ア 児童が話し合いをしやすい工夫

- ・ルールを守ってほしい時の対応について、ペアで話し合いを行うことで、自分の意見を言いやすい場の設定をする。
- ・教師が児童の意見をホワイトボードに書きとめ、話し合いに集中できるようにする。

イ 児童が意見をもちやすくする工夫

- ・事前に、担当教師が在籍学級担任からクラスでのルールの実態を聞くことで、本時のテーマについてねらいを絞ることができるようにする。
- ・全体での発表の前に、担当教師と個別で課題について考える時間を設ける。意見をもちにくい児童には、普段の生活の様子を聞いたり、選択肢を示したりすることで、意見をもてるようにする。また、自信のない児童については担当教師が児童の意見を認めることで、自信をもって意見の発表ができるようにする。

ウ 視覚的に分かりやすい工夫

- ・自分がルールをどの程度守れているか、「守レベル」という指標で段階別に表すことで、各自が大切にしているルールを可視化する。そして黒板に各自の「守レベル」の段階を掲示することで、それぞれ大切にしているルールは少しずつ違うことが一目で分かるように工夫する。
- ・「守レベル」で取り上げるルールを絵カードで提示し、ルールが適用される具体的な場面をイメージしやすいように工夫する。

エ 児童が振り返りやすくなるための工夫

- ・振り返りの観点を掲示する。
「①自分で生かしたいこと ②友達のがよかった意見 ③感想」
「感想」という観点を設定することで、①や②の観点では考えにくい児童も意見を出せるようにする。
- ・全体での振り返りの前に、担当教師と学習内容を個別に振り返る時間を設け、児童が自分の考えをまとめたり、課題を見つけたりできるようにする。在籍学級や日常生活への関連についても、個別の時間にそれぞれ振り返る時間を設ける。

オ 評価の工夫

- ・複数の教師が個別に児童の様子を見取ることで、目標に即した評価を即時行い、指導に生かす。


8 本時（全5時間中の第4時）

(1) 本時の目標

- ・人それぞれルールを守るために工夫していることが分かる。
- ・他人がルールを守れない時にどう対応すればよいか考えることができる。

(2) 本時の展開（35分間）

時間	○学習内容 ☆学習活動	指導上の留意点	・個別の支援 ★評価規準（評価方法）
導入 5分	<p>○本時の見通しをもつ。 ☆板書を見て流れを確認する。</p> <p>○前時の復習をする。</p> <p>○どんなルールがあるか思い出す。 ☆場所ごとにルールを考える。</p> <p>○めあてを示す。</p>	<p>・学習の挨拶の前に、机上や姿勢を整えさせる。</p> <p>・本時のめあて及び学習の流れをあらかじめ板書しておく。</p> <p>・前時で学んだことや、授業後に生活で生かしたことがあったかを思い出させる。</p> <p>・身近な場所のルールから考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・小学校のルール C：廊下は走らない ・家のルール C：ゲーム1日1時間</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて：①ルールを守るための工夫を考えよう ②ルールを守れない友達への対応を考えよう</p> </div>	<p>・今日の流れを提示し、授業の見通しを持たせ、参加を促す。</p> <p>・気持ちが授業に向かわない時は、どうしたいか担当教師が個別に聞き取る。</p>
展開 25分	<p>○自分がルール(マナーを含む)をどのくらい守れているか、3段階に分類する。</p> <p>☆守(マモ)レベルについて知る。</p> <p>☆担当教師と一緒にどのレベルに該当するか考える。</p> <p>☆教師の工夫例を参考に、それぞれがどのように工夫してルールを守っているか考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>守レベル</p> <p>LV.1=守れない時もある LV.2=できるだけ守っている LV.3=絶対に守っている</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>課題（4つ）</p> <p>①宿題を毎日やる ②ゲームセンターに子供だけでいかない ③弱い者いじめ（暴力・暴言）をしない ④委員会などの仕事を忘れずにやる</p> </div> <p>・課題は1つずつ明示し、板書に貼らせていく。</p> <p>・守れている児童だけでなく、正直に答えている児童を積極的に認める。他の児童の言葉が気にならないように無言で行わせる。</p> <p>・守っているのは素晴らしいと認め、守っているということは頑張っているのだと気付かせる。</p>	<p>・友達と考えが違っていいことを確認する。</p> <p>・必要があれば、聞き取ったことをメモする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問】</p> <p>守るために頑張っていること、努力していること、工夫があったら教えてください。</p> </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【補助発問】</p> <p>どうしてそのルールを大切にしているのですか。</p> </div>			

<p>☆考えたことを全体に発表する。</p> <p>☆友達へのアドバイスやよいと思った意見などを子供同士で話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場合によっては、正直にレベル1、レベル2と答えている児童について、なぜそのレベルを選んだのか理由を聞く。 ・すべてレベル3を選んでいる児童に対して本当にそれを守らないといけないのか、深く掘り下げて考えさせる。 	<p>★【評価】自分や友達が工夫してルールを守っていることに気付き、認めようとしている。(行動観察・発言)</p>
<p>☆話し合ったことを振り返り、まとめる。</p>	<p>まとめ①：誰にも大切にしているルールがある。 そのルールを守るためにそれぞれが工夫している。</p>	
<p>○ルールを、どうしたら友達に気持ちよく守ってもらえるかペアで考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じルールでも人それぞれ守レベルが違うことに気付かせつつ、違う価値観の友達に、どうしたら守ってもらえるようになるかペアで考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えられない時は、「自分だったら」と立場を変えて考えるように促す。
<p>【補助発問】自分が大切にしているルールは、自分以外の人も大切にしてい、みんないつも必ず守っていますか？</p>		
		
<p>【発問】(ペア活動) 友達に気持ちよくルールを守ってもらうためには、どうしたらいいですか？</p>		
<p>☆生活の中の事例を参考に、どうしたら守ってもらえるか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他人がルールを守れていない時、「守れよ！」「ダメだよ！」と言うのは相手に伝わるかどうか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の工夫が思いつかない時は、具体的な事例で考えさせる。
<p>【生活事例】「汚すな！」と言われた時と、「きれいに使ってくれてありがとう。」と言われた時では、どちらが守ろうと思えるか比較させる。</p>		
<p>☆話し合ったことを振り返り、まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで考えたことをホワイトボードにまとめて発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の意見を否定せずに話し合うよう促す。 ・理由を話すことで、自分の考えを友達に分かってもらうような経験をさせる。 ・友達の意見を聞く中で、ルールを守ることは自分にとっても必要なことに気付かせる。
<p>まとめ②：ルールを守っていない友達が気になる時は・・・</p> <p>(例) 優しく声をかける。</p> <p>(例) 周りに相談。</p>		
<p>★【評価】友達がルールを守れていない時、どうすればよいか考え、話し合うことができる。(行動観察・発言)</p>		

<p>振り返り振り返り 5分</p>	<p>○本時を振り返る。 ☆今日学習したことについて、担当教師と振り返り、自己の課題と結びつける。 ☆振り返ったことを発表する。</p>	<p>・以下の3つの視点で今日の振り返りを担当教師とする。 (1分) 今日の話し合いで ①友達によかった意見 ②自分で生かしていきたいこと (③感想)</p>	<p>・児童の「守れないことがある」事項から友達の工夫でできそうなことを尋ねる。 ・ルールを守れない人に対して指摘ではなく、受け入れてもらえるような言葉のかけ方に気付かせる。</p>
------------------------	--	---	---

(3) 板書計画

